

## ●●● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
剰余金の配当(期末配当金)の基準日 毎年3月31日  
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
☎0120-094-777 (通話料無料)  
インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/>  
公告の方法 電子公告の方法により行います。  
**公告掲載URL** <http://www.nozawa-kobe.co.jp>  
不測の事態により電子公告によることができない場合は、  
日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。  
上場証券取引所 大阪証券取引所 市場第2部

### 株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お手続き・お問合せ先
●お取引の証券会社等の口座で管理されている当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	お取引口座を開設されている証券会社
●未受領の配当金に関するお手続き ●特別口座で管理されている当社株式に関する配当金振込指定、単元未満株式買取請求、住所変更等のお手続き	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777 (通話料無料)

#### ▶特別口座について

特別口座では、株式のご売却はできません。  
証券会社に口座を開設いただき、お持ちの株式を当該口座に振り替えていただきますと、株式のご売却が可能となるばかりでなく、お持ちの株式の管理や株式に関するお手続きも当該証券会社で一括して行えるようになり便利です。

■この報告書についてのお問合せは右記までお願いいたします。

株式会社ノザワ TEL 078-333-4111



# 第150期 中間報告書

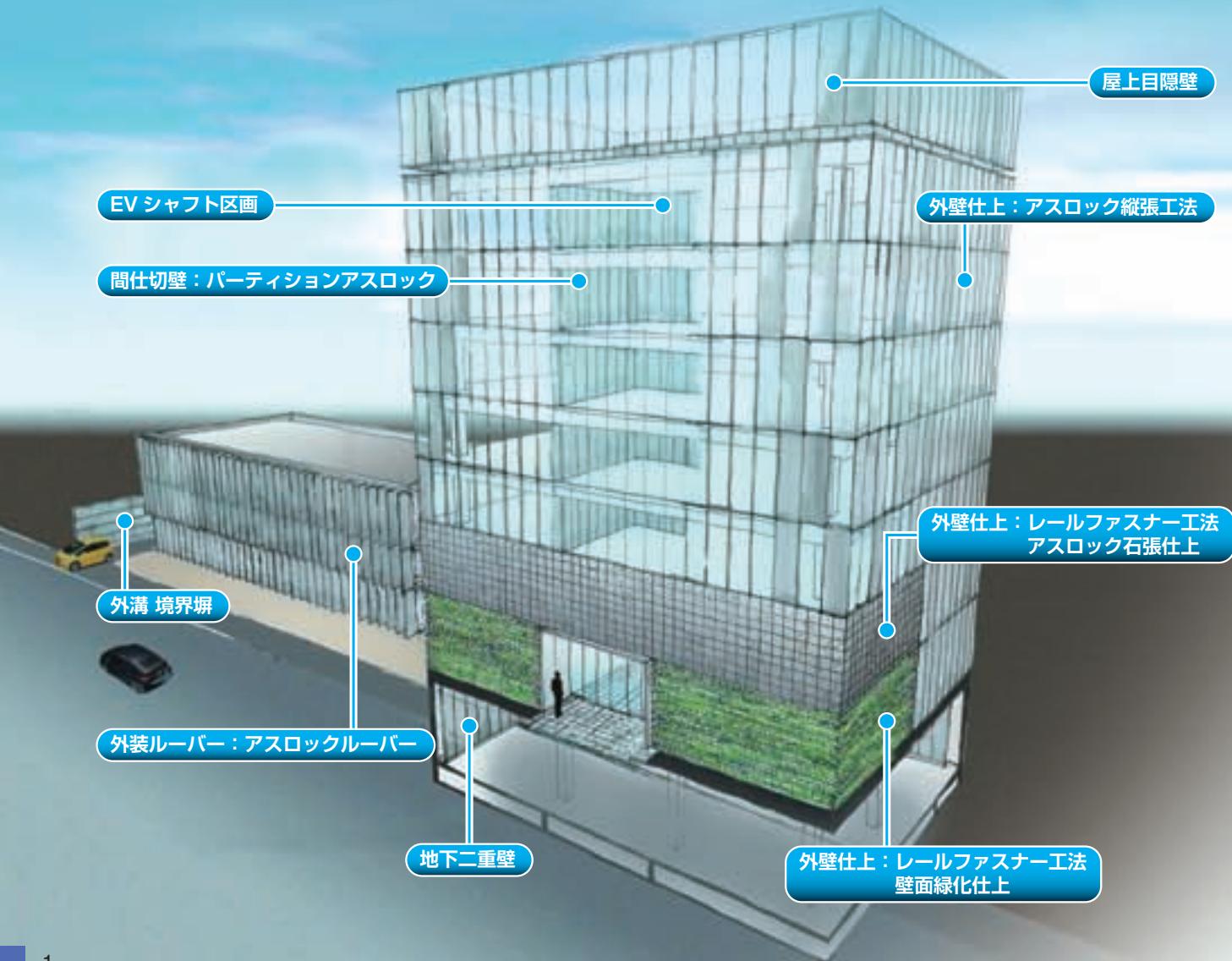
H21.4.1～H21.9.30

株主のみなさまへ

# 建材のトータルソリューション「アスロック」

主にビルや工場の外装・内装材としてご好評いただいているアスロック。建造物のより豊かな表情をつくり出すために、そして施工現場での負荷を軽減するために、さまざまな意匠・形状で、商品の幅を広げてきました。

今後も、「やすらぎと安心の創造」をモットーに、快適な生活空間・仕事空間の実現に努めてまいります。



## 「アスロック」を使用した施工例



**ASA ふじみ野NT**  
アスロック600・900(ナチュラル)



**SB4タワー(ホテルサンルート新橋)**  
アスロック900、タスロック、アスロックルーバー  
(現場塗装仕上げ)



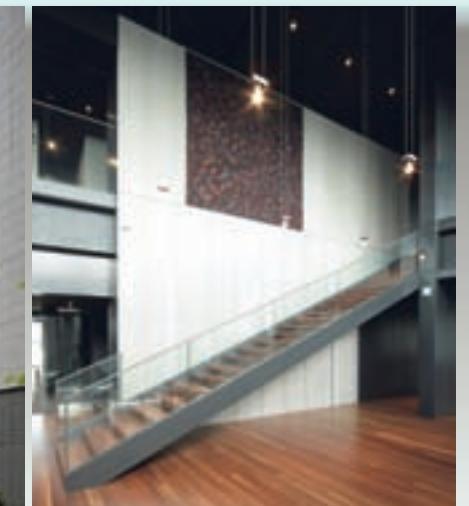
**フジヒサFJ中之島ビル**  
アスロックルーバー  
(現場塗装仕上げ)



**メンテック 技術開発センター**  
アスロック600(ナチュラル)  
レールファスナー工法(壁面緑化)



**東京建物ファーレ立山ビル**  
アスロック900、プライムライン  
(現場塗装仕上げ)



**大阪弁護士会館**  
アスロック600、タスロック、ゴジロック他  
(ナチュラル)



代表取締役社長 野澤 俊也

## ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
また、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに、当社第150期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の「中間報告書」をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

平成21年12月

## ■当第2四半期の取り組みと成果

### 【主力の「アスロック」などが堅調推移】

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、世界的な景気後退が続くなか、生産・在庫の調整や政府による経済対策などを背景に底打ちの兆しが一部で見られました。しかし、雇用・所得環境の悪化による個人消費の低迷、円高による輸出の減退などもあり、景気の先行きは依然として不透明です。建築材料業界でも、公共投資の減少、民間設備投資の中止・延期により非常に厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは建築・住宅・土木市場への安定的な商品供給に向けて既存商品の拡大を図る一方で、押出成形セメント板では初となる、リブ（意匠）幅を変えることでランダム（不連続）に見えるが壁面全体では統一感を感じる新デザインパネル「プライムライン」を4月から販売しました。また、押出成形セ

メント板「アスロック」のセメントの風合いを活かしつつ耐震性にも優れた「アスロック天井工法」を開発し、6月から関東・東海・関西地域での販売を開始するなど、商品群および新工法の充実に邁進しました。海外市場では中国・台湾・韓国における営業展開を積極的に行いました。

生産部門では、内製化をさらに推進して外注費を削減するとともに、エンジニアリング部を関東・関西の2拠点から関東1拠点へ集約させ設備投資額の低減に努めました。販売部門では、4月に静岡営業所を東京支店に統合し営業人員の集中化を進めるとともに、受注率を高めるため、東京・名古屋・関西支店内に販売促進課を設置しました。さらに全支店のデリバリー業務を埼玉工場と播州工場へ集約し、受注情報を一元化することにより生産の平準化、物流コスト削減に取り組みました。

開発部門では商品設計部を新設し、新商品の市場定着と顧客プロジェクトへの積極的な対応を集中的に行い

ました。管理部門でも営業データベースの構築など、IT活用による効率アップとコストダウンに取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、87億37百万円（前年同期比6.3%増加）となりました。品種別の売上高につきましては、押出成形セメント製品では主力の押出成形セメント板「アスロック」が49億90百万円（前年同期比19.6%増加）、住宅用軽量外壁材が8億19百万円（前年同期比2.7%増加）と堅調に推移しました。しかし、スレート関連は5億66百万円（前年同期比11.6%減少）、アスベスト除去工事におきましては、市場規模の縮小と競争激化の影響により3億35百万円（前年同期比43.7%減少）となりました。

利益面につきましては、押出成形セメント製品の増販に加え、工場での外注費削減などによる製造原価低減や需要動向に応じた人員の適正配置による生産効率の向上、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業利益は2億95百万円（前年同期比3億63百万円増加）、経常利益は2億38百万円（前年同期比2億72百万円増加）となりました。四半期純利益につきましては、固定資産売却益2億22百万円を計上した結果、3億8百万円（前年同期比3億96百万円増加）となりました。

## ■通期の見通し

### 【ニーズを先取りして建材・環境対策・海外を拡大】

今後のわが国経済の見通しにつきましては、景気後退は一部で最悪期から脱しつつあるものの、個人消費意欲の減退や企業収益の悪化など、依然として厳しい環境が続くと思われます。建築材料業界でも、設備投資の停滞、競争激化による市場の低迷など、今後も厳しい状況で推移すると予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、顧客ニーズを先取りした新商品・新工法開発により、建材事業・環境対策事業・海外事業の拡大に取り組む所存です。

建材事業につきましては、高層建築市場の開拓に向けて、高層建築に必要とされる性能を兼ね備え、意匠性・経済性にも優れたカーテンウォール「新押出成形セメント板 外壁等圧目地無足場工法」を開発し、第3四半期より本格的な営業展開を行います。また、アスロック施工現場での改善活動により、トータルコストダウンを図り受注量拡大を目指します。

環境対策事業につきましては、環境への関心の高まりやリフォーム・リニューアルに対する顧客ニーズを捉え、スレートリフレッシュ工事・ハイパート外断熱工事・アスベスト対策工事・クリーニング事業の市場拡大を図るとともに、マイケミカル事業部において農業用肥料の「けい酸含有加工苦土肥料」の商品化に注力します。

海外事業につきましては、中国・台湾・韓国市場に対して、建築建材展への出展など各国の状況に適合した商品・工法のPRを積極的に行い、販売拡大を促します。

また、生産面においては、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）による品質の向上と納期の短縮、需要動向に即応した生産体制を駆使して、収益の向上を図ります。管理面においては、さらなるトータルコストダウンを推進するとともに、有利子負債の圧縮によって財務体質を改善し、経営基盤の強化に尽力します。

これらの積極的な事業展開により、当連結会計年度は、売上高168億円、営業利益3億円、経常利益2億50百万円、当期純利益2億80百万円を見込んでいます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支持を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務諸表

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 平成21年9月30日現在	前連結会計年度末 平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	6,756,523	6,662,272
現金及び預金	1,855,849	1,487,620
受取手形及び売掛金	3,593,045	3,460,741
たな卸資産	702,510	986,139
その他	629,589	763,515
貸倒引当金	△ 24,471	△ 35,744
固定資産	14,034,195	14,037,351
有形固定資産	11,418,618	11,641,633
建物及び構築物	2,761,658	2,835,990
機械装置及び運搬具	1,140,313	1,258,978
土地	7,284,080	7,284,080
その他	232,566	262,584
無形固定資産	16,868	17,857
投資その他の資産	2,598,707	2,377,860
投資有価証券	1,489,575	1,276,591
その他	1,195,185	1,173,717
貸倒引当金	△ 86,053	△ 72,448
繰延資産	1,041	1,214
社債発行費	1,041	1,214
資産合計	20,791,760	20,700,839

## ■ 負債の部

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 平成21年9月30日現在	前連結会計年度末 平成21年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
流動負債	6,253,038	5,634,459
支払手形及び買掛金	2,409,638	2,742,314
短期借入金	360,000	645,000
1年内返済予定の長期借入金	2,208,500	910,000
賞与引当金	196,800	180,594
その他	1,078,100	1,156,551
固定負債	6,410,982	7,378,558
社債	40,000	50,000
長期借入金	2,453,000	3,473,000
再評価に係る繰延税金負債	2,277,849	2,277,849
退職給付引当金	1,057,873	975,077
その他	582,259	602,630
負債合計	12,664,021	13,013,018
<b>純資産の部</b>		
株主資本	4,956,526	4,695,343
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,470,572
利益剰余金	1,083,162	821,734
自己株式	△ 46,207	△ 45,963
評価・換算差額等	3,171,212	2,992,478
その他有価証券評価差額金	30,814	△ 147,920
土地再評価差額金	3,140,398	3,140,398
純資産合計	8,127,739	7,687,821
負債純資産合計	20,791,760	20,700,839

## ■ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	8,737,362	8,222,484
売上原価	6,469,547	6,167,416
売上総利益	2,267,815	2,055,067
販売費及び一般管理費	1,972,631	2,123,736
営業利益又は営業損失(△)	295,184	△ 68,669
営業外収益	44,198	169,767
営業外費用	100,967	134,733
経常利益又は営業損失(△)	238,415	△ 33,635
特別利益	222,133	—
特別損失	1,040	14,135
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	459,508	△ 47,770
法人税、住民税及び事業税	188,965	15,141
法人税等調整額	△ 37,570	25,444
法人税等合計	151,394	40,586
四半期純利益又は四半期純損失(△)	308,114	△ 88,356

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	343,540	△ 66,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	163,318	△ 125,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 138,629	297,043
現金及び現金同等物の増加額	368,228	105,473
現金及び現金同等物の期首残高	1,487,620	1,230,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,855,849	1,335,658

## ■ 連結決算ハイライト



## アスロックデザインパネル「プライムライン」発売 素数(3:5:7)の不連続が深みのある表情を醸し出す

当社が1970年より製造・販売を開始した押出成形セメント板「アスロック」は、外壁・間仕切壁として中高層ビル建築を中心に、公共施設、集合住宅、工場などに採用実績を伸ばし、厚物押出成形セメント板業界のトップシェアを堅持しています。この「アスロック」の特性を活かしたデザインパネルもまた、日頃より設計者様にご好評をいただいております。当社では、継続的に新しいデザインを世に送り出すため、日夜、研究に取り組んでおります。

このようななか、当社は本年4月に、「アスロック」の新しいデザインパネル「プライムライン」を発売しました。

「プライムライン」は、設計者様からのニーズをうけて、「今までのノザワにないものを」との思いから、生産部門、販売部門、開発部門で度重なる試作製造を繰り返し、当社がこれまでに発売してきた多くのデザインパネルとはまったく違うコンセプトで生まれたものです。

従来のデザインパネルは、同幅のリブ(意匠)を等間隔に配置し、デザインに規則性があるものが常識と考えられていましたが、「プライムライン」は、3:5:7の比率でつくられた、幅の異なるリブで構成されています。これにより、ランダム(不連続)なリズムが生まれながらも影の落ち方が等しくなり、壁面全体で統一感を感じる、バランスを保ったアンバランスなデザインを実現しました。この3:5:7の比率は、「素数(Prime number)」に着目したことから生まれました。これら素数が奏でる不連続が、ビルの壁面に他にはない表情を演出します。また、リブは、ピン角に近いリブを表現することで、溝を切ったような、硬質で深みのある表情が可能になりました。

今後も現代のファサードデザインに要求される繊細なテクスチャーや質感を調査・研究するとともに、お客様のニーズに耳を傾け、お客様と一体となってより良い製品づくりを行ってまいります。



## ■ マインケミカル事業部の取り組み

当社のマインケミカル事業部では、作物の生育に有用な「ケイ酸」と「苦土(マグネシウム)」を主成分とする肥料「ケイ酸含有苦土肥料」を産学共同で開発し、生産者の方々の協力を得ながら、栽培試験を進めてきました。今回はこの肥料についてご紹介します。

肥料の代表的な成分としては、「窒素」「リン酸」「カリ」、いわゆる必須3要素と呼ばれるものがありますが、作物を大きく丈夫に、また、おいしく育てるためには、3要素に加えて他の成分の働きが必要です。

特に、「苦土(マグネシウム)」と「ケイ酸」は、葉緑素の生成や作物の養分吸収を助け、食味の向上、丈夫な茎葉の形成による病虫害の抑制等に有効な成分です。

当社は、産学共同研究によって、苦土とケイ酸を主成分とする材料を、作物が吸収しやすい形態に変える方法を見出し、とりわけケイ酸の吸収性を高め、苦土の他にも、鉄、マンガン、ホウ素、亜鉛など、作物の生育に不可欠な成分を含んだ肥料「ケイ酸含有苦土肥料」を開発いたしました。

「ケイ酸含有苦土肥料」については、平成20年度より、全国各地で生産者の方々の協力を得て栽培試験を行ってきました。

栽培品種は水稲や野菜、果樹など18品目、累計約8万㎡の農地で、生育状況の観察や収穫物の分析を行い、これまでに食味の向上、生育促進、収量の増加、病害抑制などの効果が確認されています。

近年、農地土壌は、リン酸やカリの過剰な蓄積、有機肥料の多用による苦土欠乏など、養分の偏りが顕在化し、作物の生育や品質、また、環境に対する影響も懸念されています。さらに、最近の急激な肥料価格の高騰もあいまって、土壌の状態に応じたより適正な肥料の選択、使用へと転換を図る動きが強まっています。

マインケミカル事業部は、これまでの栽培実績を踏まえ、土壌の改善や作物の品質向上に貢献すべく、「ケイ酸含有苦土肥料」の来年度からの発売に向けて、その準備を進めています。また、農業分野の他、園芸、緑化分野も視野に入れ、これからの時代に求められる肥料を提供するための事業活動を推進してまいります。



水稲の新品種「ゆめぴりか」での栽培試験の様子(北海道)



白菜、ネギの栽培試験の様子(茨城県)

## 会社概要 [平成21年9月30日現在]

社名	株式会社ノザワ NOZAWA CORPORATION
創業	明治30年8月17日
設立	大正2年9月28日
資本金	24億4,900万円
従業員数	336名(連結)
子会社	株式会社ノザワ商事 株式会社ノザワトレーディング

役員	代表取締役社長	野澤 俊也
	専務取締役	佐々木 三七司
	専務取締役	豊田 和冲
	常務取締役	三原 伸夫
	常務取締役	山口 幸久
	常務取締役	田淵 義章
	取締役	坂本 茂紀
	取締役	松永 豊
	常勤監査役	吉田 慎祐
	社外監査役	出島 信彦
	社外監査役	堀田 昌展
	社外監査役	浦 正喜

### ネットワーク

● 本社：〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 tel / 078-333-4111 (代)

● 支店・営業所

札幌支店：札幌市中央区大通西1丁目14番2(第2有楽ビル)

関西支店：神戸市中央区浪花町15番地

仙台支店：仙台市青葉区本町1丁目1番8号(第一日本オフィスビル)

広島支店：広島市中区小町3番25号(三共広島ビル)

東京支店：東京都中央区新川1丁目24番8号(東熱新川ビル)

松山営業所：松山市大手町2丁目9番地4(石丸ビル)

名古屋支店：名古屋市中区名駅3丁目10番17号(IT名駅ビル2号館)

九州支店：福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号(JPR博多ビル)

北陸営業所：金沢市本町1丁目5番1号(リファーレ)

● 研究所

技術研究所：埼玉県深谷市大字折之口字稜威ヶ原1851番地4

● 工場

フラノ事業所：北海道富良野市字山部1596番地4

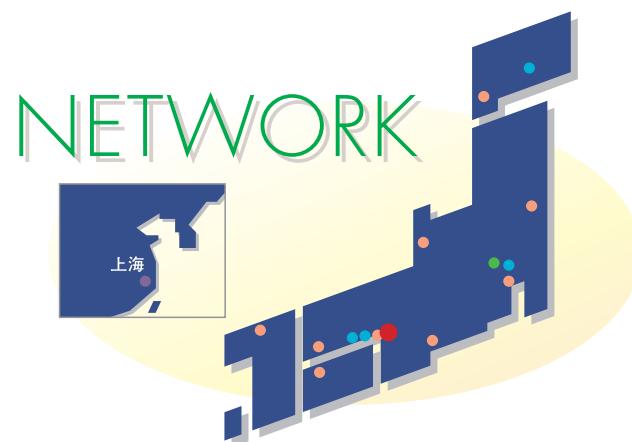
埼玉工場：埼玉県比企郡吉見町大字長谷1947番地

播州工場：兵庫県加古郡播磨町古宮

高砂工場：兵庫県高砂市高須1番1号

● 海外駐在所

上海駐在所：上海市延安西路2299号 上海世貿商城 10F A55



## 株式情報 [平成21年9月30日現在]

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	24,150,000株
株主数	2,402名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本興亜損害保険株式会社	1,749	7.49
日本生命保険相互会社	1,744	7.47
株式会社三井住友銀行	1,153	4.94
神栄株式会社	973	4.16
ケーオーディー株式会社	755	3.23
東京海上日動火災保険株式会社	724	3.10
ノザワ従業員持株会	606	2.59
CBC株式会社	603	2.58
三井住友海上火災保険株式会社	577	2.47
日工株式会社	568	2.43

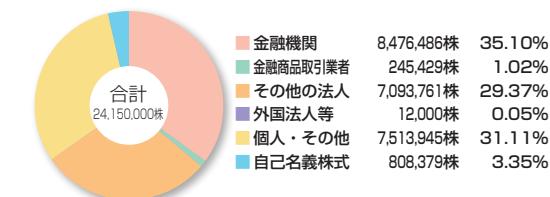
(注) 出資比率は自己株式(808,379株)を控除して計算しております。

### 株式分布状況

#### 所有者別株主数



#### 所有者別持株数



### ホームページのご案内

当社では、ホームページを通じて、IR情報はもちろんのこと、各事業活動紹介や新商品情報、アスベスト関連情報なども幅広く紹介しております。また、今後の販路拡大のため、英語版・中国版サイトの充実にも努めております。

URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>